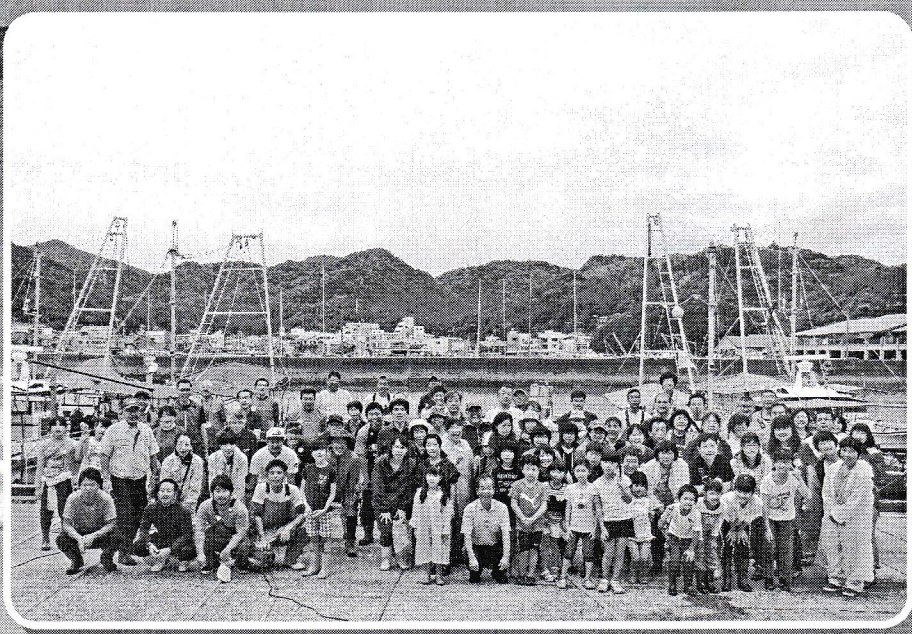


公益財団法人 おかもやま環境ネットワーク

～2019年度事業・決算報告 2020年度事業計画・予算～



日生アマモ再生活動

～ 目次 contents ～

2019年度事業報告	P. 1～11
2019年度財務諸表等・監査報告書	P.12～16
2020年度の事業計画・収支予算書	P.17～18
定款	P.19～22

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

本誌を通じておかもやま環境ネットワークについて一層のご理解を賜り、身近に感じていただければ幸いです。

今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※活動は皆様のご支援に支えられています。ご入会・ご寄附等のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



公益財団法人 **おかもやま環境ネットワーク**

Okayama Environment Network Foundation

～かけがえのない地球、未来のこどもたちへ～

2019年度の事業報告

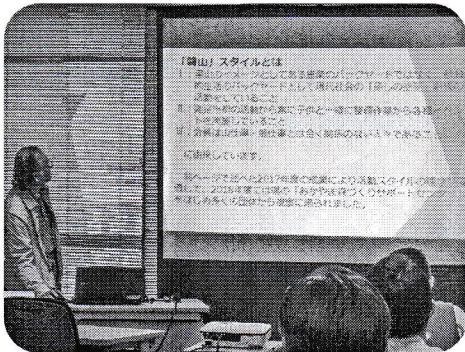
(2019年04月01日～2020年03月31日)

1. はじめに

- ①他団体等との協働は、昨年同様、多くの事業ですすめられました。
- ②企業との連携は、(株)村田製作所のビオトープを活用したホテル観察（初夏）、紅葉シーズン、桜の開花シーズンと季節を変えた事業へと拡がりました。
- ③2021年度の財団設立20周年での記念事業の内容、2021年度以降での財団の運営方針について検討を開始しました。

2. 公益事業1

(1) 助成事業



2019年度助成活動報告会



2019年度助成活動報告会

①助成活動報告会

1) 2018年度の助成5団体による報告会を開催しました。

	助成団体名	助成企画名
1	つやま演劇教育研究会	演劇を介したクールチョイスの周知・促進
2	あかいわ美土里の和	里山再生プロジェクト
3	おかやまエコマインドネットワーク	地域を活かす農業と食の安全
4	あかいわエコメッセ	第20回あかいわエコメッセ(環境企画展)
5	里海づくり研究会議	アマモ植生とカキ養殖生産に対する異常気象の影響に関する検証

2) 参加者から、普段聞くことのない県内の活動を知る機会となった、自分も実際に参加してみたい等の声をいただきました。今回は報告数(前年8団体)が少なかったこともあり、各団体の報告時間を延長しましたが、さらに報告時間延長の要望が多数寄せられました。

②助成部会

1) 2019年度は、8団体に102万円の助成を行いました。

年度	団体数	金額	年度	団体数	金額	年度	団体数	金額	年度	団体数	金額
1999	5	65	2005	15	147	2011	12	100	2017	8	100
2000	7	100	2006	15	129	2012	6	90	2018	5	54
2001	13	110	2007	12	120	2013	8	102	2019	8	102
2002	13	137	2008	15	150	2014	10	126			
2003	16	150	2009	11	94	2015	11	175			
2004	11	102	2010	10	93	2016	9	95	合計	220	2,341

- 2) 2020年度の助成申請の審査、助成募集要項及び助成活動報告の開催について協議しました。
- 3) 助成団体が企画する行事等に事務局が参加し、助成金の使用状況等を含め情報収集を図りました。

日程	企画名称など	
4/14 (日)	美土里の和 総会	
7/14 (日)	エコマインド主催「親子で考える食品ロス」	対象事業

(2) ホタル保護事業

①ホタル団体交流会

- 1) 5回(4月・7月・9月・11月・1月)開催しました。各団体組織の高齢化による活動の衰退や停止が発生してきている中、昨年度から交流準備を進めてきた「なださきホタルの会」(岡山市南区奥迫川)と現地交流しました。地域づくりを進める年間行事の一環としてホタル保護エリアの整備や観察会などを組み込んでいたり、公民館だよりにホタルの会の取り組みが毎号掲載され継続的に目に触れる機会が設けられていたり、会則の設置や会費の徴収など、持続可能な体制づくりが進められていることを学びました。
- 2) 2018年夏の大雨がホタルにどんな影響を与えているか状況把握するために、県内各地の飛翔情報を持ち寄りました。幼虫が下流に流されたことで成虫の飛翔範囲が広がっているエリアもあれば、飛翔数が大幅に減少しているエリアもありました。幼虫が上陸する4月上旬以降の気温や降水量も成虫の飛翔時期に影響を与えている可能性が高く、引き続き来年以降も情報収集を図ることを確認しました。
- 3) 交流会として、2019年度は4会場((株)岡山村田製作所ビオトープ、西大寺山南ホタルの里、北房ほたる公園、御津大野川)でホタル観察会を実施することを確認しました。



ホタル観察 村田製作所

(3) 支援環境の研究・交流

①里海づくり推進部会

- 1) 有識者、事業者、団体、企業、行政等、多様なメンバー参加のもと、笠岡エリアでは初の里海シンポジウム(主催)の具体化や体験プログラムの企画検討、参加メンバーの取り組み交流等をすすめました(5月・7月・9月・11月・1月・今後の予定:3月)。

②アマモ場再生活動支援

- 1) 日生において、日生漁業協同組合を中心に、学校や市民を巻き込んだアマモ再生活動の理解を深める説明、アマモの種取り、種選別、種まき、播種ポット作成などの取り組みを検討・実施しました。
- 2) 笠岡見崎において、神島寺間見崎里浜づくりの会を中心に、アマモの種選別、播種ポット作成、ポット定植などの取り組みを、生活協同組合おかやまコープ井笠エリアの組合員とともに実施しました。

③シンポジウム

- 1) 『里海シンポジウムin笠岡～豊かな海の再生・増やそう海の応援団～』では、これまで日生エリアで積み重ねられてきた漁師と地域とのつながりを、笠岡エリアでも同様に作り上げられる基盤づくりを目指し、3月14日に開催を予定しましたが、新型コロナウイルスの影響により、次年度に延期することとしました。

(4) 広報、事業決算報告、ニュース発行

- ①メールニュースの発行(月2回)とホームページの更新で、情報報告をすすめました。関係団体による発信要望を含め、行事案内をすすめました。
- ②活動紹介パンフレットや事業・決算報告書を様々な機会に配布し、活動紹介とともに新規会員の獲得を図り、13会員(個人12・団体0・企業1)の入会につながりました。
- ③今後の事業展開について検討協議に向け実施したアンケートでも、団体間のネットワーク

くりに関連した声が寄せられました。情報発信ツールが整備されていない団体が多数ある中で、共通媒体についても検討を進めます。

(5) 環境家計簿活動事業

①環境家計簿登録モニター

- 1) 2018年のモニター数は、284世帯（前年258世帯）となりました。2017年と2018年の連続2年間分の全データが揃った145世帯の実績集計では、2016年比では1世帯当たりのCO₂排出量は97.9%と微減、2013年比では71.5%と大きく減らすことができています。

②環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダー

- 1) モニター実績をまとめ、岡山市と協働で環境家計簿レポート（6月）を発行しました。
- 2) 各家庭でのエネルギー使用の抑制、外出先でのゴミ捨て方やエシカル消費の視点など、環境にやさしい暮らしの実現に役立つ情報を分かり易く提供するツールとして、岡山市と協働で環境家計簿カレンダーを発行しました。

月	テーマ	月	テーマ	月	テーマ
01月	ウォームシェア	05月	海ごみ（陸域対応）	09月	異常気象への備え
02月	省エネ（冬の暖房）	06月	生ごみ減量化	10月	待機電力への対応
03月	エシカル消費	07月	男子の日傘	11月	エコドライブ
04月	食品ロス	08月	省エネ（冷蔵庫）	12月	生物多様性の将来予測

- 3) 環境家計簿委員会では、岡山市環境局環境部保全課地球温暖化対策室とともに、環境家計簿レポート、環境家計簿カレンダーの原稿作成をすすめました。

(6) 協働事業：他団体や行政などとの関係

①水環境フォーラム

- 1) (社)日本水環境学会中国四国支部岡山地域分科会、岡山理科大学環境教育地域支援研究会と共催で、7月に開催した水環境フォーラムでは、「オゾン・促進酸化による水処理技術」をテーマに、水野忠雄氏（摂南大学工学部准教授）「オゾン・促進酸化処理のミカタ」、野村洋平氏（高知大学教育研究部博士研究員）「回転円盤型促進酸化装置による廃水中微量有機化学物質の除去技術の開発」、堀貴晃氏（オーニット株式会社）「小型オゾン発生器の利用事例」の講演を受け、総合討論を通じて意見交換をすすめました。

12月のフォーラムでは、「水害のリスクと防災の取り組み」をテーマに、2018年7月に発生した岡山県内の水害を取り上げ、池田雅彦氏（倉敷市水道局水道総務課課長）「平成30年7月豪雨における水道施設の被害と対応～今後の災害対応に向けて～」、斎野秀幸氏（岡山市下水道河川局局長）「平成30年7月豪雨における岡山市の被害と対応」、西村伸一氏（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）「ため池の役割と豪雨リスク評価」の講演を受け、総合討論を通じて意見交換をすすめました。



NW ニュース No.95 表紙

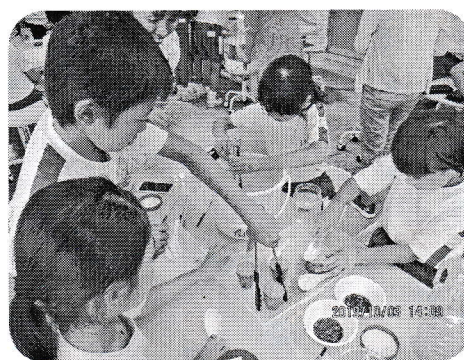
②備前市立日生西小学校「アマモ播種ポット作成教室」

- 1) 地域と世代をつなぐ里海づくりの一環として、備前市立日生西小学校にて、日生西小学校の児童（24名・天候のため日生中学校生徒の参加見合わせ）を対象に、田中丈裕氏（NPO法人里海づくり研究会議理事）によるアマモの役割説明の後、アマモの種で播種ポットを作成しました。児童はポットでの発芽と成長過程を観察した後、1月23日に潜水作

業により定植を行いました。

③笠岡市立神内小学校「アマモ播種ポット作成教室」

1) 笠岡エリアでのアマモ再生活動の一環として、笠岡市立神内小学校にて、神内小学校の児童（15名）を対象に、森中憲治氏（神島寺間見崎里浜づくりの会代表）によるアマモの役割説明の後、アマモの種で播種ポットを作成しました。児童はポットでの発芽と成長過程を観察した後、おかやまコープ井笠エリアの組合員が作成した播種ポットともに、計47ポットを2月11日に見崎海岸に定植しました。



日生西小学校・アマモ播種ポット作成

④行政等との関係

1) 岡山県協働による環境学習推進事業（アスエコ）」の運営会議（委嘱は2019年度までで終了）、「岡山E S D推進協議会」の運営委員会、企業部会、ワーキンググループに委員参加し、SDGsフォーラム企画の具体化やアンケート調査項目検討などで役割を担いました。「備前市里海・里山ブランド推進協議会with I C M」の専門委員会及び環境戦略部会に委員参加しました。

組織名	委員会等	開催（参加会のみ）
アスエコ	運営委員	4/23、5/27、7/29、8/19、12/21、1/20
E S D協議会	運営委員会	5/21
	企業部会	6/20
	WG他	6/5、6/13、8/8、9/13、10/18、11/11、11/20、12/3、1/17、2/12、3/19
	備前市	専門部会
	観光戦略部会	12/10、1/27
旭川かいぼり	実行委員会	5/22、7/3、9/18、10/23、11/18

- 2) 岡山市との協働による「環境家計簿レポート」「環境家計簿カレンダー」を発行しました。岡山市以外の市町との協働発行について実現の可能性を引き続き探ります。
- 3) 「市民のための環境講座」等では、大野川いい川づくり、神島寺間見崎里浜づくり、NPO法人里浜づくり研究会議、ままかり普及委員会、生活協同組合おかやまコープ岡山東・岡山西・倉敷・美作・備北・井笠エリア等と共催による事業をすすめました。

(7) コープフェスタ

①ネットワークでのブース展示

1) ホテル団体交流会への参加団体にご協力いただき、ゲンジホテル、ヘイケホテル、ヒメホテルの大きさや明滅スピードの違い、成虫とは姿が大きく異なる幼虫の解説など、通常のホテル観察会では情報提供が難しい内容を、写真等を活用しながらお知らせする機会としました。

3. 公益事業2

(1) 市民のための環境講座

①企画状況

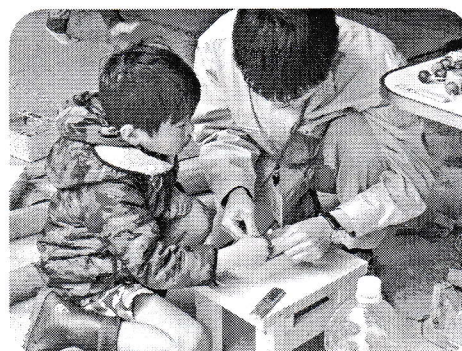
1) 環境問題を正しく理解し、意識啓発や行動を促すことを目的に、開催しました。

日程	企画名称など
04/27 (土)	大野川「筍掘り&竹林の管理と竹あそび」:河太勝子氏(大野川いい川づくり)
06/01 (土)	岡山村田製作所「ピオトープ・ホテル観察会」:村田健氏(村田製作所)
06/08 (土)	西大寺一宮「山南ホテル観察」:花口光氏(山南ホテルの会)
06/09 (日)	真庭「北房ホテル観察会&玉泉寺野草見学」:平城元氏(北房ホテル保存会)

06/15 (土)	大野川「ホタル観察会」:岩城孝志氏(岡山野生生物調査会)
06/25 (火)	「お魚教室」(美作エリア):林宗男氏(ままかり普及委員会)
07/06 (土)	座学「温暖化と私たちの暮らし」:中平徹也氏(環境カウンセラー)
08/03 (土)	下津井大浜海岸「ウミホタル観察会」:吉鷹一朗氏(岡山野生生物調査会)
08/24 (土)	津黒いきものふれあいの里「夏休み子ども企画・いきもの観察」⇒中止
10/19 (土)	大野川「いきもの観察会」吉鷹一朗氏(岡山野生生物調査会)
11/03 (日)	「第12回旭川かいぼり調査」旭川かいぼり調査実行委員会
11/12 (火)	「お魚教室」(倉敷エリア):林宗男氏(ままかり普及委員会)
11/22 (金)	「お魚教室」(岡山東エリア):林宗男氏(ままかり普及委員会)
11/30 (土)	「お魚教室」(備北エリア):林宗男氏(ままかり普及委員会)
03/28 (土)	岡山村田製作所「ビオトープ観察会&さくら観賞」:村田健氏(村田製作所)⇒中止

②概要

- 1) 大野川「筍掘り体験」では、子どもたちも竹林に入り、鍬を振り下ろして春の旬の食材である筍を掘りながら、地下茎で伸びる竹の様子を学びました。また、初めて竹を切ったり割ったり、ドングリに穴を開けたり、日常生活では経験することが少なくなった自然の素材を使ったおもちゃ作りを楽しみました。
- 2) 4会場で実施したホタル観察会では、参加者(ホタルを観賞する側)は、2018年に発生した水害による影響が出ていること、保護エリアでは地元の皆さんが草刈りや河川清掃など環境整備にご苦労されていることなど、里山の環境は人の手によって維持されていること等を学びました。
- 3) 環境カウンセラーを講師に招いた講座では、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が2018年10月に公表した、産業革命前から気温上昇を1.5℃に抑えた場合の状況や社会影響を整理した「1.5℃特別報告書」の説明や、世界各地で発生している気候変動の兆候を学びながら、私たちが暮らしの中で実践できる行動を一人一人が考える機会となりました。



大野川・おもちゃづくり

(2) 体験プログラム

①企画状況

- 1) 次代を担う子どもの参加する取り組みを大切に考え、自然にふれ親しみ、自然との共生、自然の大切さ、いのちのつながりなどを伝え、自然環境や普段の暮らしを考えるきっかけをつくることを目的に開催しました。

日程	企画名称など(カッコ内はおかやまコープとの共催企画など)
06/08 (土)	日生アマモ「種取り体験&アマモ場いきもの観察会」
06/08 (土)	日生アマモ「種取り体験&アマモ場いきもの観察会」(備北エリアバス企画)
08/05 (月)	村田製作所「ビオトープ夏休み子どもよくばり企画」:山田勝氏・橋本智明氏
08/17 (土)	「保冷剤を使って芳香剤を作ろう」(備北エリア):㈱サンキョウエンビックス
08/18 (土)	大野川「川あそび」:河太勝子氏(大野川いい川づくり)
08/20 (火)	笠岡見崎アマモ「種選別」
08/21 (水)	「エフピコ・リサイクル工場見学」(岡山西エリアバス企画)
09/21 (土)	日生アマモ「種選別・種まき&エビ食べ比べ」
09/21 (土)	日生アマモ「種選別・種まき&エビ食べ比べ」(倉敷エリアバス企画)
10/01 (火)	笠岡市立神内小学校「アマモ播種ポット作成教室」
10/03 (木)	備前市立日生西小学校「アマモ播種ポット作成教室」

10/05 (土)	笠岡見崎アマモ「播種ポットづくり」
10/18 (金)	笠岡見崎アマモ「種まき」
10/24 (木)	岡山学芸館高校「アマモ播種ポット作成教室」
11/16 (土)	村田製作所「ビオトープ・昆虫たちの冬の過ごし方を知ろう」 ⇒中止
02/11 (火)	笠岡見崎アマモ「ポット定植」

②概要

- 1) 日生では、船上からのアマモの流れ藻の回収と袋詰め、成熟した種の選別（陸上）、「貝藻くん（カキ殻漁礁）」を引き揚げ解体してアマモ場に棲むいきものを観察しました。2016日生アマモサミットで公演された日生中学校の生徒のみなさんによる漁師さんたちによるアマモ再生の取り組みDVDを参加者で視聴し、里海再生にかける漁師さんたちの思いを再確認しました。
- 2) 村田製作所のビオトープでは、夏休みこども企画として、セミの抜け殻集めと池に棲むいきもの調べを行いました。集めた抜け殻を子どもたちが分類してみると、クマゼミ226個体、アブラゼミ29個体、ニイニゼミ46個体など普通種が完全に入れ替わっていること、池の中には体長70cmを超える鯉が棲み、たくさんの水生生物が捕食されていることを学びました（外来種の鯉は捕獲・移動させました）。
- 3) ㈱エフピコの食品トレイ・リサイクル工場見学では、回収された食品容器トレイが再び食品容器やその他のプラスチック製品の原料となることを学びました。一方で、㈱エフピコで製造しているおよそ6,000種類の食品トレイのうちリサイクルできないものが3～4割あることなど、プラスチックをできるだけ減らした暮らしには消費者の意識変化も欠かせないことも学びました。
- 4) ㈱サンキョウエンビックスの出前講座では、保冷剤には吸水性ポリマーというプラスチックが使われていること、乾燥させれば100～1000分の1の重さになること、吸水性ポリマーは水と一緒に香り成分も吸着する性質を利用して芳香剤としてリユースできること、手についたポリマーを水道で洗い流すとマイクロプラスチックとなり下水から海へ流れ出ること等を学びました。



日生・いきもの観察



村田製作所・抜け殻の分類

4. 事業共通

(1) 今後の公益事業取り組みへの情報収集

- ①次年度以降の環境講座等の企画に関する情報収集を図ること、県内で環境に関わる企画を主催している団体等との交流を図ること、2021年度に控える財団設立20周年記念行事への継続的な情報収集を図ることを目的に、各種行事等への事務局参加をすすめました。

日程	企画名称など	会場など
04/05 (金)	重井薬草植物園 見学	倉敷市重井薬草植物園
04/14 (日)	あかいわ美土里の和 総会	桜が丘いきいき交流センター
04/20 (土)	なださきホテルの会 総会	岡山市南区灘崎迫川
04/21 (日)	「発達障害のある方への理解と対応」(研修会)	岡山県自然保護センター
04/28 (日)	「とんぼの羽化」(観察会)	岡山県自然保護センター

05/05 (日)	「自然学習リーダー養成講座」(卒業生子ども企画)	岡山県自然保護センター
05/19 (日)	「ビーチクリーンアップ大作戦」(笠岡国際交流協会)	笠岡ナビックランド
05/23 (木)	「川と海の世界啓発パネル展」	津山市役所1階
05/23 (木)	津山圏域クリーンセンター 見学	津山圏域クリーンセンター
05/26 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』①(波田善夫氏)」	岡山県自然保護センター
06/01 (土)	「くらしき環境フェスティバル」	倉敷市環境学習センター
06/02 (日)	「井原市環境フェア」	井原駅前広場、駅ビル
06/04 (火)	「地域新エネルギー導入推進研修会」①	岡山県立図書館
06/16 (日)	「環境講演会マイクロプラスチックって、なに？ 海ごみについて考えよう」(磯辺篤彦氏・山陽女子中高地歴部)	ライフパーク倉敷
07/03 (水)	「SDGsの基本ととらえ方」(環境ひろば研修会)	アスエコ
07/06 (土)	「環境学習メニューの全体像を掴みアレンジを考える」 (環境ひろば研修会)	アスエコ
07/07 (日)	「子ども自然体験プログラム」(研修会)	岡山県自然保護センター
07/08 (月)	「日生中学校海洋学習講演会」(澁澤寿一氏)	備前市立日生中学校
07/28 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』②(波田善夫氏)」	岡山県自然保護センター
08/03 (土)	「水辺教室」(環境ひろば研修会)	西川支流枝川
08/19 (月)	「お買い物からはじまるSDGs」(ESD協議会)	イオンモール岡山
08/30 (金)	「2019 エコツアー」(環境カウンセラー企画)	人形峠環境技術センター他
09/05 (木)	「食品ロス削減セミナー」①(岡山県)	おかやま西川原プラザ
09/11 (水)	「ワークショップ海ごみと私の暮らしを考えよう」(原田禎夫氏)	津山市総合福祉会館
09/20 (金)	「グローバル気候マーチ」	岡山駅～市役所周辺
09/21 (土)	「環境シンポ・アマモ場再生から始まる里海づくり」	備前市立日生中学校
09/29 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』⑤(波田善夫氏)」	岡山県自然保護センター
10/05 (土)	「SDGsカードゲームX体験会」(環境ひろば研修会)	北長瀬ランチ
10/06 (日)	「ESDカフェ100回記念・哲学カフェ」	岡山シティミュージアム
10/09 (水)	「海辺の教室(対象:笠岡神内小学校)」(笠岡市)	笠岡市大島漁協
10/14 (月)	「講演会・戦後日本公害の歴史的教訓と水島」(みずしま財団)	倉敷市水島公民館
11/01 (金) ～02 (土)	「第11回市民・地域共同発電所全国フォーラム」	オルガホール
11/04 (月)	「瀬戸内海海ごみフォーラム in おかやま」(岡山県)	ピュアリティまきび
11/08 (金)	「岡山大学サイエンスカフェ」(吉田圭介氏 他)	岡山大学
11/10 (日)	「海ごみリーダー養成講座」(香川県)	香川県直島
11/12 (火)	「プラスチック3R推進セミナー」(岡山県)	オルガホール
11/13 (水)	「地域新エネルギー導入推進研修会」③	岡山県立図書館
11/17 (日)	「社会人大学生物学部『植物学科』⑥(波田善夫氏)」	岡山県自然保護センター
11/23 (土)	「みずしま環境学習コンソーシアムモデルツアー」(みずしま財団) ※初日のみ参加	寄島・水島周辺
11/24 (日)	「ESDフォーラム」(岡山ESD推進協議会)	岡山大学
11/25 (月)	「公益法人・一般法人中国会研修会」	岡山コンベンション
12/07 (土)	「STOP温暖化くらしき2019講演会」(歌川学氏)	倉敷市環境学習センター
12/08 (日)	奥出雲トキ飼育センター、鳥取水島公園 見学	島根県出雲市 他
12/15 (日)	「探鳥会」(岡山野鳥の会)	瀬戸内市錦海塩田跡地周辺
12/15 (日)	「アースキーパーのつどい(五箇公一氏)」(アスエコ)	岡山コンベンション
12/22 (日)	「探鳥会」(笠岡野鳥の会)	笠岡市笠岡干拓地周辺
01/07 (火)	倉敷市立自然史博物館 見学	倉敷市立自然史博物館
01/12 (日)	岡山野生生物調査会 総会	操山里山センター
01/13 (月)	「探鳥会」(落合野鳥の会)	真庭市JR美作落合駅周辺
01/25 (土)	「COP25報告会」(CASA)	大阪市

01/26 (日)	「食品ロスセミナー」② (岡山県)	おかやま西川原プラザ
02/05 (水)	「地域新エネルギー導入推進研修会」④	岡山県立図書館
02/15 (土)	「山の緑は土砂災害を防げるか」(波田善夫氏)	岡山県自然保護センター
02/18 (火)	「おかやま環境フォーラム」(鍵井靖章氏)	岡山国際交流センター
02/23 (日)	「SDGsフォーラム2020」(岡山ESD推進協議会)	岡山大学
02/24 (月)	「倉敷市環境学習センター登録団体連携講座～自然を語る～(インタープリター養成講座)」(田賀辰也氏 他)	倉敷市環境学習センター
02/25 (火)	「ESD・SDGsに関する次世代の主体的な取り組みと効果測定に関する研究会」(中口毅博氏)	岡山市職員研修所
02/28 (金)	オンドリ観察小屋、湯原はんざきセンター	真庭市湯原 他

②会員登録いただいている個人会員及び団体会員のみならず、企業会員のみならずにも財団としてどんな情報提供が求められているのか、どんな情報提供が可能なのかを研究し、みなさまから必要とされる財団となれるよう引き続き情報収集をすすめます。

5. 法人管理部門

(1) 理事会、評議委員会

- ①設立20周年以降の財団のあり方検討に向けた情報収集の機会として、宮城県内で環境分野でのネットワークによる啓発や事業を展開している「公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク」を訪問しました。プロジェクト方式による「2030年のMELON～めざす姿と21のアクションプラン」の策定など、長期的なビジョンと短期的なアクションを組み合わせた方針づくりなど多くの参考となる情報を持ち帰りました。
- ②20周年記念事業の具体化及び2030年に向けた財団のあり方を検討する場として、理事会にプロジェクトを設置し、検討・協議を開始しました。
- ③20周年記念事業に向け、各会員へのアンケートを発送しました。
- ④10年ぶりとなる「環境活動団体表」の提出を、団体会員にお願いしました。

(2) 申請

- ①年度計画等の変更届を提出しました。
- ②2019年度の公益財団法人事業報告を提出しました。

(3) 会員管理

①会員数 (2020年03月31日現在：納付済)

会員数	個人	団体	企業等	計
2019年度末	97+5	37+3	33	175
2018年度末	96+5	36+2	35	174

②2019年度入会・退会状況

	個人	団体	企業等	計
入会	12	0	1	13
退会	0	3	0	3

(4) 財政

- ①経常収益は、予算比99.5%でした。一方、当初予定していたバス企画の中止、新型コロナウイルスの感染影響による企画実施自粛などにより経常費用は予算比74.9%と下回りました。
- ②収支予算は、収支相償の原則を踏まえ、当期経常増減が赤字となる予算を組んでいましたが、上記等により、当年度経常増減は約95万円の黒字となりました。
- ③2021年度に財団設立20周年を迎えるにあたり、「20周年記念事業準備資金」を特定費用準備金として積み立てを行っています。当年度経常増額分のうち40万円を2019年度分の特定費用準備資金に積み立てます。

以上

公益財団法人おかやま環境ネットワーク役員・評議員

2019(令和元)年度

理事 [任期] 平成30(2018)年評議員会終結の時～令和02(2020)年評議員会終結の時

	氏名	略歴等
1	秋山 秀行	(株)大町代表取締役社長
2	井勝 久喜	吉備国際大学教授
3	高坂 知典	生活協同組合おかやまコープ職員
4	齊藤 達昭	岡山理科大学理学部准教授
5	阪田 祐作	岡山大学名誉教授
6	嶋 一徹	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
7	清水 善朗	弁護士
8	塩飽 敏史	公益財団法人水島地域環境再生財団理事・研究員
9	上甲 啓一	生活協同組合おかやまコープ執行役員
10	田中 丈裕	特定非営利活動法人里海づくり研究会議理事・事務局長
11	千葉 喬三	学校法人中国学園大学・中国短期大学学長
12	野上 祐作	岡山理科大学名誉教授
13	花口 光	岡山の自然を守る会事務局長・会長
14	三村 健	サンコー印刷(株)相談役
15	山口 一裕	岡山理科大学理学部基礎理学科准教授
16	山田 哲弘	公益財団法人岡山県環境保全事業団環境学習センター「アスエコ」所長

以上、理事16名 (50音順)

代表理事：野上 祐作、業務執行理事：上甲 啓一、高坂 知典

評議員 [任期] 平成29(2017)年評議員会終結の時～令和03(2021)年評議員会終結の時

	氏名	略歴等
1	阿部 孝司	岡山大学生生活協同組合専務理事
2	伊藤 國彦	岡山県立大学名誉教授
3	河本 志津恵	岡山医療生活協同組合常任理事
4	北川 文夫	岡山理科大学教授
5	小橋 賢之	(株)建美装社代表取締役
6	田中 照周	生活協同組合おかやまコープ専務理事
7	日野 進一郎	グローカルネット吉備代表 / 日野環境デザイン研究所代表
8	檜山 伸吾	児島湖流域エコウェブ理事
9	平田 まき子	加計学園水質管理室
10	福留 正治	岡山環境カウンセラー協会顧問
11	藤田 賢治	(株)フジタ地質代表取締役
12	宮本 紀子	生活協同組合おかやまコープ有識者理事

以上、評議員12名 (50音順)

監事 [任期] 平成30(2018)年評議員会終結の時～令和02(2020)年評議員会終結の時

	氏名	略歴等
1	岡本 秀雄	生活協同組合おかやまコープ常勤監事
2	横山 順二	岡山手延素麺株式会社代表取締役

以上、監事2名 (50音順)

顧問 [任期：理事会において定める]

平成30(2018)年5月12日理事会終結の時～令和06(2024)年5月理事会終結の時

	氏名	略歴等
1	青山 勳	岡山大学名誉教授
2	河原 長美	岡山大学名誉教授

以上、顧問2名 (50音順)